



平成15年度  
第4号  
平成15年12月  
発行

## 山日YBS杯弓道大会

平成15年11月23日(日) 小瀬武道館弓道場  
会長挨拶・この大会は、かいじ国体の翌年、昭和62年からはじめました。今年が第17回となります。それまでかいじ国体を目指して競技力強化に努め、一応の成果をおさめたのですが、その力を維持し更に進歩させていく為にはどうしたいかという事で、さまざまな検討を重ねました。その中で生まれたものの一つがこの大会です。「春の段位別選手権大会と並ぶ秋の選手権大会をつくる。試合形式も決勝は射詰め方式とし、極度の集中力を体験する。」ということでした。幸い、山梨日日新聞社の協力を得て、以来17年、大会は年々盛大になり、それと共に選手の競技力も進歩してきました。

そんな歴史を背負って、今日の第17回大会が開かれます。今後の山梨弓道の更なる発展を目指しながら、今日のこの大会での皆さんのご活躍を期待します。

矢渡しの後、緊張の予選開始となりました。

試合結果

女子の部・申し込み31名 参加24名 予選通過7名

### 堂々2連覇!!(大和田幸子さん)

1位 大和田幸子(南ア市) 2位 小山田みち子(富士吉田)  
3位 功刀美幸(南ア市)

男子の部・申し込み67名 参加51名 予選通過32名

1位 荒井壽一(富士吉田) 2位 細野晃史(甲府)  
3位 小山田治雄(富士吉田) 4位 山下弘行(山梨)  
5位 佐野好美(南部)

射撃部・申し込み27名 参加23名 予選通過7名

1位 芦沢茂幸(春日居) 2位 高部保延(都留)  
3位 佐野辰巳(南部)

### 男子の部 息詰まる!!熱戦の軌跡

1 2 3 4 1 2 3 4 5 6 7 8

1位	荒井壽一	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
2位	細野晃史	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	遠近
3位	小山田治雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	遠近
4位	山下弘行	×	○	○	○	○	○	○	○	×			
5位	佐野好美	×	○	×	○	○	○	×					

閉会式、会長の講評に代えて、

「この大会の創設のいきさつ」について開会式挨拶の一つ付け加えます。当時、計画立案の論議の中で「予選通過的中数を何中にするか?」がかなり問題になりました。

三つの方式が検討されました。①4射2中以上②4射3中以上

③2射皆中、③は射数が少な過ぎて参加者に気の毒(せつかく出て来ても、たった2本だけではかわいそう)ということで先ず消去①と②の比較に論議が集中しました。結局、「大会の権威、優勝者の権威を高めるには②が優れている。しかし今日の山梨の力では《3中以上》的中できる人数がそれほど多くない。したがって決勝の人数少なくなって寂しい大会になる。大会を権威づけるためには将来出来るだけ早い時期に《3中以上通過》を実現するよう努力することはいいいことだが、当面《2中以上》から出発し、予選通過者の確保(それは大会参加者数の確保にもつながる)をまず目指そう、ということになりました。その結果、今日までこの形が続いて来ています。残念ながら《3中以上通過》に移行することに至っていません。

しかし、今日の男子有段者の部では21人が3中以上の通過を果たしています。昔に比べて既にかなり質の向上してきていることは確かです。(勿論「3中制」がより優れているとは必ずしも言えないし、いくつもの欠点があることも確かですので、今、直ちに「3中制」に変えたいなどと、私自身も考えている訳でもありませんが、)そんな視点からも、この大会の17年間にわたる発展の跡を評価することが出来たことを喜びたいと思っています。

歴史の足跡を振り返りながら、また、将来に向けての夢を描きながら、来年もまたこの大会の大勢集まってください。

### ねんりんびっく壮行射会 10月2日

暑い残暑も過ぎ、朝夕身の引き締まる思いを感じさせる秋を迎えた10月2日「坂成田弓道場」に於いて壮行射会が実施された。過日逝去された「坂崎さん」の冥福をお祈りし黙祷を捧げた後、壮行式に移った。会長の選手激励の挨拶、出場選手代表の力強い決意表明、記念撮影を行った後、会員はシルバー世代のためトレーニングとして自由練習を実施した。

午後、執行部三役による矢渡し、引き続き射候12射による競射会を行った。

1位 小沢重平⑥ 2位 竹村榮寿⑥ 3位 飯野善雄⑥  
4位 中込明⑤ 5位 斎藤美隆⑤ 同中は競射による親睦射会として12支の射落としを行った。

(松)市川明(梅)竹村榮寿(中込明)(雨)伊藤昇  
(菖蒲)千須和公代(蝶)末長朝喜(猪)小沢重平  
(二重坊主)内田徳美(菊)佐藤美隆(鹿)平山孚  
(桐)坂本致英 (記、内田堅次郎)

### 第18回県下女子大会 平成15年10月26日(日)

晴天の一日、順調に県下女子大会が行われえました。高体連の先生方が大勢参加、協力して下さり、感謝いたします。終了後、反省会で、秋山女子部長が「この大会は高校生が一般の人と関わり、顔なじみになることで、卒業後も山弓連女子部の活力となることを願いたい、又、お互いの勉強の場として女子大会を積重ねてきた」と話されたが、これを機に一層努力しようとする参加者一同思ったことでした。今後より多くの女子弓道仲間が参加できますよう、各支部のご協力をお願いするものです。(山弓連女子部事務局・雨宮千代子)



第18回県下女子大会 成績表

- 一般 1位 古屋直子 (山梨支部) 6射5中  
 2位 牧野知子 (甲府支部) 6射4中  
 3位 勝俣さつき (富士吉田支部) 6射3 (競射による)
- 高校団体 1位 吉田高校Aチーム 18射12中  
 2位 韭崎高校Aチーム 18射11中  
 3位 甲府西高Aチーム 18射10中
- 高校個人 1位 柏木愛子 (吉田高) 6射5中 (競射)  
 2位 中嶋愛希 (韭崎高) 6射5中  
 3位 富永 萌 (甲府商業) 6射5中

第18回山梨県中学校新人弓道大会

平成15年11月 3日 (月曜日)

小瀬スポーツ公園武道館弓道場

男子団体 (36射)

- ①17中 櫛形中Bチーム ②14中 櫛形中Cチーム

- ③12中 石和中Aチーム

男子個人 (12射)

- 第1位 8中 石和中 渡辺成巳  
 第2位 8中 櫛形忠 土橋淳也  
 第3位 7中 櫛形中 桐山和也

女子団体

- ①16中 下吉田中Cチーム ②16中 石和中 Bチーム

- ③11中 増穂中Cチーム

女子個人

- 第1位 8中 石和中 清水美沙季  
 第2位 7中 増穂中 井上靖葉  
 第3位 6中 石和中 古屋美来

山弓連納射会

日時：平成15年12月14日

場所：小瀬武道館 弓道場

山梨県弓道連盟の納射会が一年を締めくくるにふさわしく、特に祝賀行事として、代表の先生方による祝射、昇格された先生方の答射はおごそかの中に執り行われ、参加した弓士の今後の励みになるものと思われました。

平成15年中に昇段昇格された方々

錬士昇格者・望月繁美先生 組沢篤先生

六段昇段者・綿奈部博史先生

体育功勞受賞者

佐藤真佐美先生 秋山照美先生

◎納射会・競射結果 参加者38名

祝射 一手 競射 四ツ矢 計 六射

優勝・西堀泰弘 (教六) 5/6

2位・小笠原八束 (二) 4/6

3位・内藤幸雄 (錬五) 4/6

(2, 3位は競射による)

審査報告

審査部長 佐野辰巳

平成15年11月9日			平成15年11月16日		
種目	人数	人数	種目	人数	人数
査定	44	1欠	査定	87	3欠
一級		4	一級		9
二級		27	二級		48
査定初段		12	査定初段		27
初段	12	9	初段	31	22
二段	14	7	二段	34	13
三段	3	3	三段	28	10
四段	7	0	四段	3	0
合計	80	62	合計	183	129

会の時間 (秒数)

番号	甲矢	乙矢	平均
1	2.13	2.01	2.07
2	1.90	1.90	1.90
3	3.21	3.36	3.29
4	1.60	1.40	1.50
5	3.86	4.30	4.08
6	2.78	2.52	2.65
7	2.60	3.79	3.20
8	2.28	3.68	2.98
9	2.80	3.77	3.29
10	3.39	4.10	3.75
11	2.83	4.83	3.83
12	1.96	2.50	2.23
13	1.96	2.80	2.38
14	2.30	2.29	2.30
15	7.73	7.22	7.48
16	3.85	4.40	4.13
17	1.51	2.14	1.83
18	3.16	4.05	3.61
19	4.13	3.83	3.98
20	3.92	3.72	3.82
21	10.20	12.93	11.57
22			0.00
23	7.34	6.90	7.12
24	2.40	2.70	2.55
25	2.74	4.35	3.55
26	1.12	0.80	0.96
27	3.10	2.80	2.95
28	1.70	1.60	1.65
平均	3.28	3.73	3.50

受審者の中に高校一年生が多くなりましたが、例年になく指導者の指導が良く素晴らしい射をした人達が多く見受けられました。

☆今回16日の三段について、会から離れの時間 (秒数) を自分なりに測定したところ左図のようになりましたので参考にしてください。

合計27名 合格者10名

内訳・皆中 5名

甲矢当たり4名

乙矢当たり1名

的中者18名のうち

皆中 5名

甲矢当たり7名

乙矢当たり6名

三段は射型定まり、体配落ち着き、気合整い、射術の運用が法の従い、矢飛真っ直ぐ、的中やや確実である事が条件です。四段にはかなりの修練が必要のようです。全般的に会までの時間が長すぎる為、会の時間が取れない人が多いです。

編集後記・一年間の「山弓連」購読ありがとうございました。十分の編集が出来なかった事を反省しています。来年も引き続きよろしく願いいたします。是非、会員、皆様のご意見等の寄稿をお待ちしております。(新藤)

(目標5秒)